

# 平成 29 年度 部活動活動結果

春季総合体育大会の結果（文化部は大会の結果）をお知らせします。

## 運動部

### 陸上競技部



#### 講評（顧問より）

7種目において近畿 IH 出場権を獲得することができた。自己ベストも多く出た。しかし、男女とも4×100mR でオーバースタートにより失格するなど、悔しい結果となった種目もある。

近畿 IH 出場者には、全国 IH を目指し、より高いレベルでの勝負を期待したい。

#### 結果（トップ8のみ）

女子走幅跳	岡村明莉（3年3組）	優勝	5m43cm	追参
				（公認記録は5m34cm）
男子200m	中井準登（3年3組）	第2位	21秒58	追参
女子100mH	福本有理（3年3組）	第2位	15秒40	
男子砲丸投	奥野悠稀（3年3組）	第5位	12m26cm	
男子三段跳	笹岡優也（2年1組）	第5位	13m79cm	追参
				（公認記録は13m74cm）
男子110mH	川上裕也（2年3組）	第5位	16秒21	
男子110mH	松村峻吾（3年3組）	第6位	16秒38	
男子4×400mR	奥野悠稀・瀬河颯・松村峻吾・中井準登	第6位	3分21秒36	以上、近畿 IH 出場権獲得
女子4×400mR	福本有理・岡村明莉・河内百華・栲バレスヨシマイアヲ	第7位	4分07秒82	
男子100m	中井準登	第8位	11秒27	
男子三段跳	福田龍太	第7位	13m60cm	
女子円盤投	栲バレスヨシマイアヲ	第7位	29m71cm	

## テニス部 男子

シングルス予選（10人エントリー）

予選敗退

ダブルス予選（5組エントリー）

予選敗退

団体戦2R 敗退

石部 0-3 国際情報高

第1シングル 松井 2-6 で敗退

第2シングル 白川 3-6 で敗退

第1ダブルス 西岡・平山ペア 2-6 国際情報ペア



## テニス部 女子



講評（顧問より）

シングルス予選

予選決勝が一つの関門でフィジカル、メンタルともに強さを備えていなければ、なかなか本戦出場への切符が手に入らない。3年の曾和選手は、1年の時から3年の春に至って両面の力を蓄えてきたので、秋の大会に引き続き今回も本戦出場を決めた。

ダブルス予選

東大津高校が春季大会に向けてかなり実力をつけてきたので、ダブルスにおいてゲームを簡単には取らせてもらえなかった。本校選手の素晴らしい技も出たが、ミスも多く残念ながら本戦出場は果たせなかった。

シングルス本戦

本戦出場選手のレベルが高く、技術面・メンタル面ともに鍛えなければならないところがあり、試合を観戦していた本校部員は自らの課題について深く考える機会を与えられた。

3年の曾和選手は、敗退したが、3年間積み上げてきたものを本戦で発揮し、試合を楽しみ有終の美を飾った。

シングルス予選

- 2年 福本未亜羅（2回戦）守山高に6－3で敗退
- 2年 山元 玲奈（2回戦）近江兄弟社高に6－4で敗退
- 2年 松浦りな（2回戦）近江兄弟社高に7－5で敗退
- 3年 曾和 愛 予戦通過、本戦出場決定

ダブルス予選

- 福本未亜羅、山元玲奈ペア（予選決勝）東大津高に6－2で敗退
- 曾和 愛、松浦りなペア（1回戦）東大津高に6－2で敗退
- 本戦進出ならず

シングルス本戦

- 3年 曾和 愛（1回戦）膳所高に6－1で 敗退

## バレーボール部 女子

予選グループ戦

石部		立命館守山
2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 19 \\ 25 & - & 3 \end{bmatrix}$	0

決勝トーナメント 1回戦

石部		長浜北星
0	$\begin{bmatrix} 12 & - & 25 \\ 9 & - & 25 \end{bmatrix}$	2

講評（顧問より）

1年生がたくさん入部して、今年度は石部高校単独で出場することができた。チームを結成して間もなかったが、集中して試合に臨めた。その結果、初日を勝ち抜くことができ、2日目に残ることができた。

今回は決勝トーナメント1回戦敗退であったが、部員たちは次回に向けてやる気に溢れている。



## 卓球部

男子団体
1回戦 対 八日市 2-3
男子ダブルス
岡本、吉川組 ベスト 32
男子シングルス
岡本、吉川 3回戦敗退



講評（顧問より）

団体は、勝利まであと少しだったが惜しくも敗退してしまった。今ある力を出せたと思うが、団体戦は個人戦とは試合の仕方や雰囲気も違うため、団体戦で勝つためには個人戦にはない団体戦の戦い方を身につけなければいけない。

ダブルスは、近畿大会出場枠のベスト 16 まであと一步であった。ベスト 16 決定戦でシードの選手とあたり善戦したがベスト 16 の壁を突破することはできず敗戦した。その壁を乗り越えるためには、努力が必要である。

シングルスは、出場選手全員、随所に良いプレーが見られた。結果は残せず残念であったが、後輩たちはその悔しさを忘れずに、1 からスタートをして次につなげていってほしい。

## バスケットボール部 男子

石部		八日市
5 1	$\left[ \begin{array}{ccc} 6 & - & 20 \\ 11 & - & 18 \\ 11 & - & 22 \\ 23 & - & 8 \end{array} \right]$	6 8
2回戦敗退（抽選によりトーナメント2回戦から）		

講評（顧問より）

全力を尽くしたが、力及ばず2回戦敗退となった。3年生がいなくても良いプレーをしていた時間帯があり、次に向けて期待と課題がみえてきた総体となった。

## バスケットボール部 女子

石部		国際情報
3 9	$\left[ \begin{array}{ccc} 6 & - & 19 \\ 12 & - & 17 \\ 10 & - & 20 \\ 11 & - & 18 \end{array} \right]$	7 4

講評（顧問より）

試合に向けて、欠席者もなく熱心に練習を続けることができた。

試合の結果自体は残念だが、それぞれができたこと、できなかったこと、今後の課題を確認することができた良い機会であった。

内容面に関しては、序盤の立ち上がりも良いスタートが切れず、点数に結びつかないプレーが散見された。後半になるにつれて体力もなくなり、味方任せになるプレーも増えた。しかし、自分たちで指示を出したり聞いたりして、状況を見ながら試合運びができたことは評価できる。また、冷静に今回の試合を反省することができ、次に向けて再スタートを切れそうである。

## バドミントン部

個人戦
ダブルス 告中・河合組 1回戦敗退
シングルス 告中 1回戦敗退 河合 1回戦敗退 高橋 1回戦敗退
男子団体 1回戦敗退(対 草津)

## 文化 部

### 吹奏楽部

基本的には賞のつかない大会だが、今回は近畿高等学校総合文化祭大阪大会の出場権をかけて、本校を含め8校が選考にエントリーをした。

県代表として近畿総文大阪大会に参加するのは石山高校（130名）に決まり、本校は惜しくも代表を逃したが、審査員からは高評価を受けている。

演奏曲目はジャパニーズグラフィティ14 A・RA・SHI～Beautiful Days  
ライオン・キングより「愛を感じて」の2曲

### 講評

『少ない人数でも澄んだ音色でとてもきれいな演奏です。』

各 solo きれいでした！good！ドラムのバランスが少し大きいので注意して下さい。

違う音色の楽器でハーモニーを作るのは大変ですが、がんばって下さい。』

（関西吹奏楽連盟の審査員より）

### 放送部

第64回NHK杯全国高校放送コンテスト滋賀県大会朗読部門  
4名が出場